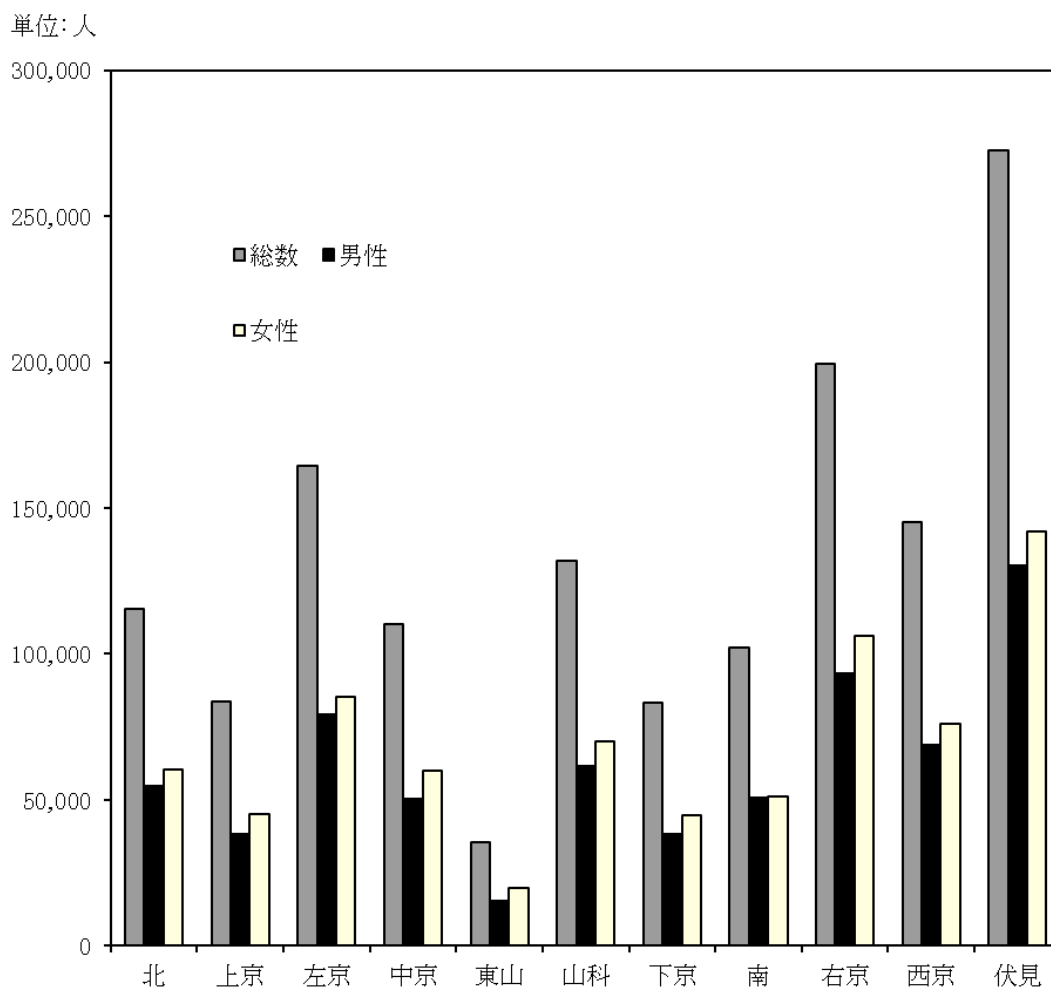


人口の概況

令和5年10月1日現在の京都市の人口（推計）は1,443,486人で、前年に比べて5,478人、0.38%減少した。世帯数（推計）は745,630世帯で、前年より6,286世帯、0.84%増加し、1世帯当たりの世帯人員は、前年の1.96人から0.02人減少して1.94人となった。行政区別人口では伏見区が最も多く、全市の20%近くを占めている（図1）。

図1 行政区別人口



京都市の人口を年次推移でみると、戦後順調に増加を続けたが、昭和50年代後半から微増状態となり、昭和60年代から平成6年までは微減傾向に転じた。平成7年以降は再び微増状態となっていたが、平成29年以降減少傾向となっている（図2、図3）。

図2 京都市総人口の年次推移

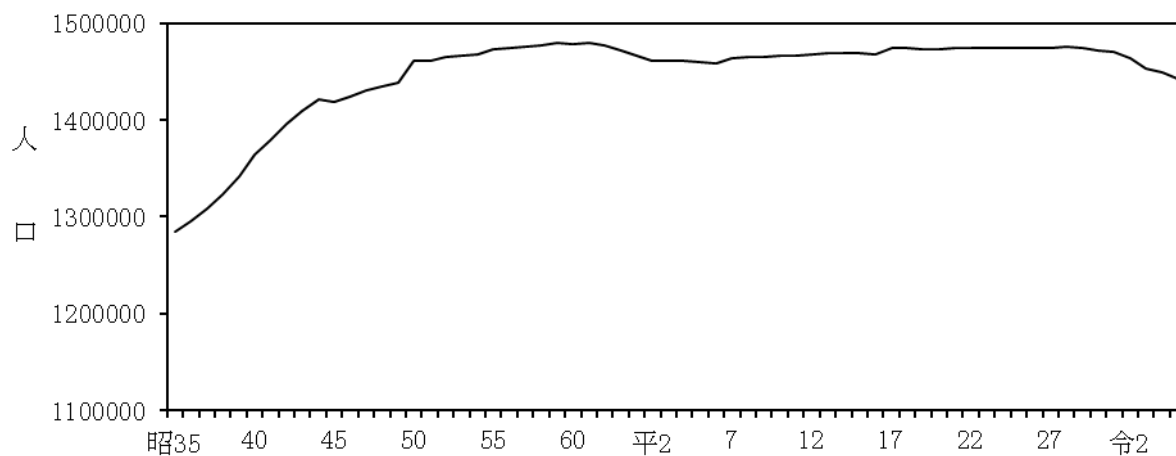
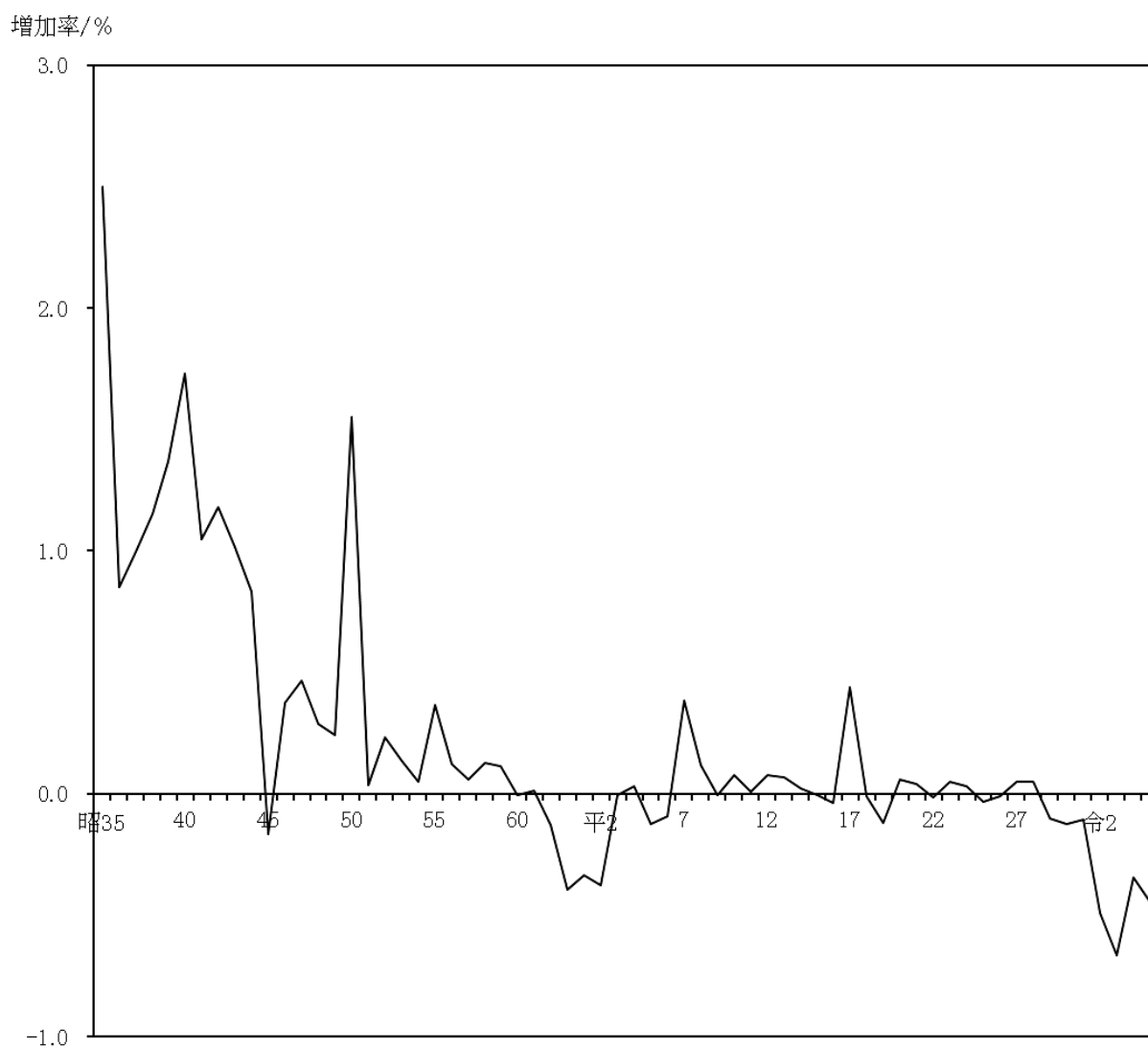


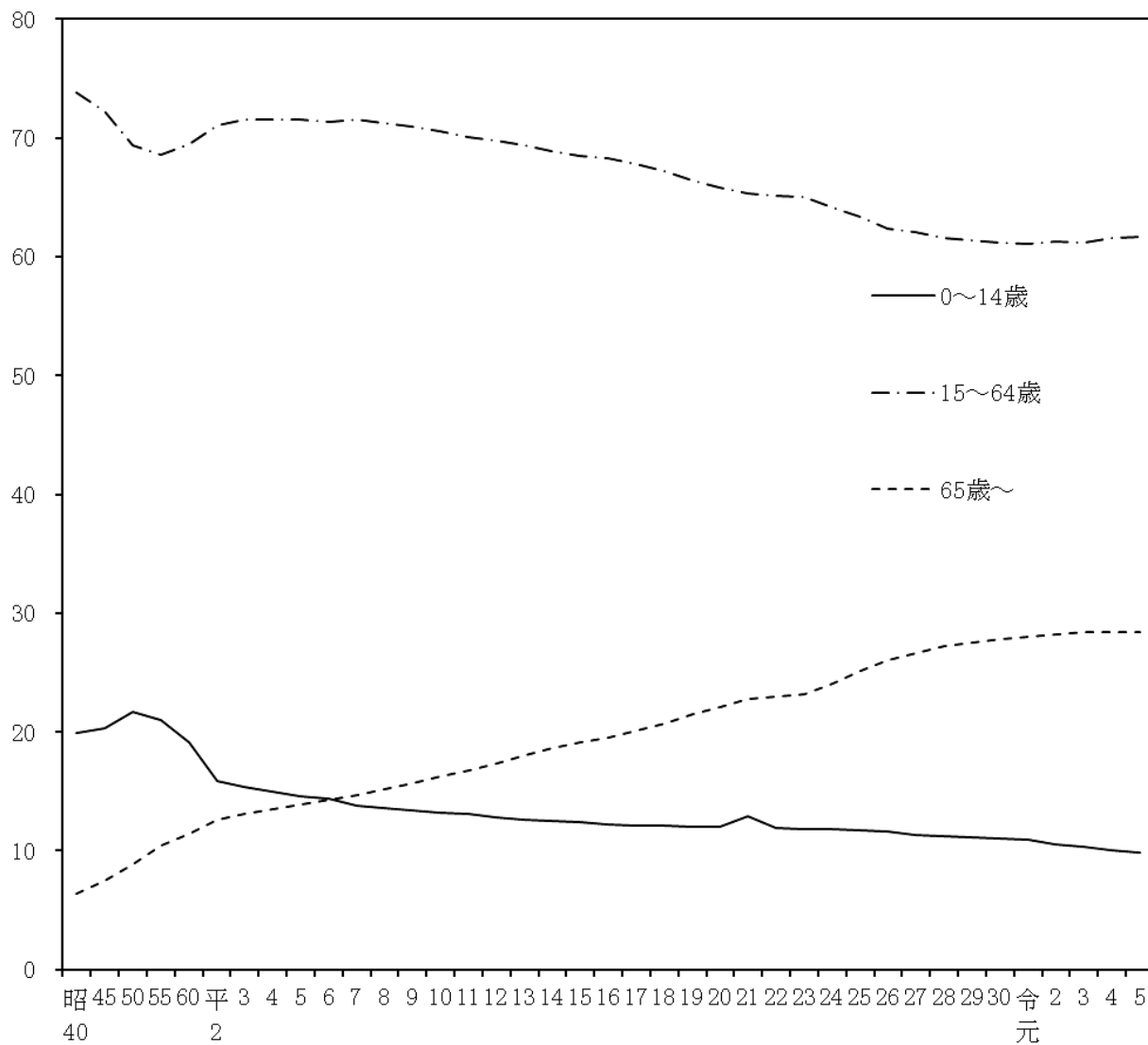
図3 人口増加率の年次推移



令和5年10月1日現在の京都市の人口（推計）を年齢3区分別にみると、0～14歳の年少人口が142,476人（9.9%）、15～64歳の生産年齢人口が891,210人（61.7%）、65歳以上の老年人口が409,800人（28.4%）となり、年少人口より老年人口の全人口に占める割合が18.5ポイント高い。前年と比べると、高齢人口が占める割合に変化がないことに対して、年少人口が占める割合は0.2ポイント低下しており、高齢化が続く状況にある（図4）。

図4 年齢3区分別人口構成比率の年次推移

構成割合/%



（注）平成2年までは国勢調査年